高等学校バスケットボール部顧問 様 バスケットボール指導者 様

長崎県高体連バスケットボール競技専門部長崎県バスケットボール協会審判委員会

ルールについて(ご案内)

秋冷の候 顧問の先生方並びに指導者の皆様にはご清祥のことと存じます。

先日の全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会長崎県予選会も新ルールを適用した最初の県 大会でしたが、皆様のご協力のお陰をもちまして、終えることができました。また、ユニフォーム やテーピングの件、ソックスについてのお願いにもご協力いただき感謝いたします。

さて、今回のウインターカップ県予選や各カテゴリーの大会において、イリーガル (不当) なステップが多く見られます。リーガルな (正しい) ステップの指導徹底をお願いします。

トラヴェリングのみでなく、ルールを正しく教えることは指導者の責任でもあります。そこで、指導者等の研修を兼ね、下記の日程で各地区協会審判委員会から説明をして貰うことになりました。つきましては、ご多用の中恐縮とは存じますが、ご参加くださるようお願い致します。

記

1 日 時 平成27年11月8日(日) 閉会式(表彰式終了後)

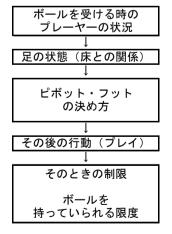
 2 場所
 長崎地区
 長崎県立長崎東高等学校 体育館

 中地区
 長崎県立大村高等学校 体育館

佐世保地区 長崎県立佐世保工業高等学校 体育館

- 3 内容
 - (1) トラヴェリングについて (ルール変更ではありません)

[両足のいずれかをピボット・フットに出来る例]



- 両足が床に着いた時にボールを受け取るか、 空中でボールを受け取って両足同時に床に下りる。
- 〇 両足を床につけている状態。
- どちらの足をピボット・フットにしてもよい。
- どちらかの足を床から離せば、床に残った足が ピボット・フットになる。
- O パスかショットをするためには
- → ピボット・フットを床から離してもよいが、ピボット・フットが 再び床に着く前に、ボールを手から離さなければならない。
- → 飛び上がったら、次にどちらかの足が床に着く前に、ボールを 手から離さなければならない。
- ※ご参照ください http://www.jx-group.jp/clinic/web_clinic/player/070223_01.php
 - (2) その他